

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | レッドプラネット広島流川町 | 階数 | 地上9F |
| 建設地 | 広島市中区流川町7-7外 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 330 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | ホテル | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年5月 予定 | 評価の実施日 | 2019年1月17日 |
| 敷地面積 | 791 m ² | 作成者 | 朝井 真、田中 誠 |
| 建築面積 | 503 m ² | 確認日 | 2019年1月22日 |
| 延床面積 | 4,323 m ² | 確認者 | 朝井 真 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.1)

| | |
|-------|-----|
| 音環境 | 3.2 |
| 温熱環境 | 2.6 |
| 光・視環境 | 3.2 |
| 空気質環境 | 3.8 |

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)

| | |
|-----|-----|
| 機能性 | 3.2 |
| 耐用性 | 3.2 |
| 対応性 | 2.8 |

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 3.0)

| | |
|------|-----|
| 生物環境 | 1.0 |
| まちなみ | 5.0 |
| 地域性 | 2.5 |

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.9)

| | |
|-------|-----|
| 建物外皮の | 4.0 |
| 自然エネ | 3.0 |
| 設備ンステ | 4.4 |
| 効率的 | 3.0 |

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.4)

| | |
|--------|-----|
| 水資源 | 3.4 |
| 非再生材料の | 3.6 |
| 汚染物質 | 3.2 |

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

| | |
|-------|-----|
| 地球温暖化 | 3.9 |
| 地域環境 | 3.3 |
| 周辺環境 | 3.0 |

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

| 「地球温暖化対策」の推進 | 「ヒートアイランド対策」の推進 | 「長寿命化対策」の推進 |
|---|---|--|
| スコア = 3.8 | スコア = 1.9 | スコア = 3.4 |
| 設計の計画上特段に配慮した事項 開口部遮音: T-2、客室内屋光率≥1.25% 仕上材: F☆☆☆☆、換気: 35m ³ /h以上 全館禁煙 // 高効率空調機器を採用。 // 節水コマ及び、 節水型衛生器具の採用。 リサイクル資材を3品採用 躯体と仕上材、内装材と設備との分別可能 / 高効率機器の 採用によりBPIを低減させた。 | 設計の計画上特段に配慮した事項 / 宿泊者用・荷捌き用を含め敷地内駐車場の確保 | 設計の計画上特段に配慮した事項 耐久性の高い配管、ダクト材料を採用。 維持管理への配慮 維持管理用機能の確保 外壁仕上げ材耐用年数=30年 / 電気配線は更新を考慮し、管内配線とした。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される